



## 水ぼうそう（水痘：すいとう）について

医師 島田 祐美

水ぼうそう(水痘)は水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染した人が発症する病気です。一般に予後良好な疾患であり、通常基礎疾患のない小児では特別な治療をしなくても自然治癒します。

これまでの疫学では、2歳までに約半数、5歳までに約90%が水ぼうそうに罹患していました。水ぼうそうは年間100万人程度が発症し、4000人程度が入院、20人程度が死亡していると推定されています。2014年10月から日本でも水痘ワクチンの2回接種が定期接種に組み込まれました。



### <どのようにして感染しますか？>

水ぼうそうの水疱病変がある患者さんの気道から排出されたウイルスによる飛沫感染ないしは空気感染、また直接接触や水疱内容物で汚染されたものを介した間接触でも感染します。



### <治療はどうしますか？>

発疹に対しては消毒・かゆみ止めのため石炭酸亜鉛華リニメント(カチリ)を、1日数回綿棒で発疹一つ一つに塗布し乾燥させます。

水疱出現早期に抗ウイルス薬を内服すると重症化を予防し、罹病期間を短縮することができます。

### <潜伏期間はどれくらいですか？>

10~21日(多くは14-16日)

### <ウイルス排出期間はどれくらいですか？>

通常発疹出現前1-2日から発疹出現後数日です。すべての水疱が痂皮化(かさぶたになる)するまでは感染の可能性がります。

### <どんな症状ですか？>

発疹は通常200~300個で、体幹に多く、顔面、四肢に少ないです。また、丘疹、水疱、痂皮の順序で治癒していきますが、同一部位に様々な段階の発疹が混在するのが特徴です。発疹はかゆみも伴います。発疹出現前に発熱や全身倦怠感などの症状がある人もいます。症状は個人差が大きく、水疱が数個で発熱もなく経過する人もいれば、全身に多数の水疱が生じ、高熱がでる人もいます。通常は1週間程度で自然に治癒する疾患ですが、基礎疾患があり、免疫抑制状態にあるお子さんがかかると重症化します。

### <どんな合併症がありますか？>

一番多いものは皮膚の細菌の二次感染です。膿痂疹、蜂窩織炎などになります。神経合併症としては水痘脳炎(1/33,000)、急性小脳失調症(1/4,000)などがあります。また、母体が妊娠20週までに水痘に罹患すると、約2%の児が先天性水痘症候群を発症します。

### <家庭で気を付けることはありますか？>

かゆみがあるのでかきむしらないようにしましょう。熱がなければ、お風呂も入って大丈夫です。水疱をやぶらないように泡立てた石鹸でこすらず洗ってあげましょう。口の中に水疱があるときはしみますので、すっぱいものやからいものは避けましょう。

### <いつから登園できますか？>

全ての発疹がかさぶたになれば登園可能です。

### <予防はどうしたらいいですか？>

水痘ワクチンを接種しましょう。

### <水痘の人と接触したらどうしたらいいですか？>

接触後72時間以内に水痘ワクチン接種を行うと、発症予防もしくは軽症化できる可能性があります。しかし、周囲で流行しているときは、それ以前にかかっている間に合わない場合もあります。



# 気になる! Q & A



Q: 高熱で頭がおかしくなるって本当?

A: 実際にはそんなことはありません。人間の脳は41℃程度の熱では壊れないようにできています。ただし熱の原因が、「髄膜炎」や「脳炎」という病気の場合は別です。その場合は「けいれん(ひきつけ)」「嘔吐」「頭痛」などの症状が強くなります。子どもの症状をよく観察して、心配な症状があるときには受診しましょう。

Q: 熱があるので、温めたほうが良いですか?

A: たくさん着せて掛物を増やし大量に汗をかいて熱を下げるという昔ながらの方法は、体力のない子どもに負担をかけるばかりでなく、「うつ熱」によってかえって体の温度を上げてしまいます。また、体内の水分が不足する「脱水状態」を引き起こしかねません。寒そうなら暖かく、暑そうなら涼しく・・・を心掛けましょう。

Q: 安静にするようにいわれたけれど・・・

A: 「安静」というと、黙って布団に横になっているというイメージがありますが、子どもはじっとはしてられません。子どもの安静は、基本的に「室内で過ごしましょう」ということです。保育園・幼稚園・学校をお休みして家の中で過ごしましょう。家の中程度なら、少しぐらい騒いでもはしゃいでも大目に見てあげてください。「子どもが疲れない程度の室内遊び」これが子どもの「安静」です。

## !! 重要なお知らせ !!

午前0時から午前8時までの受診方法が変わりました。

この時間帯は救急車搬入の患者、大分県子ども救急電話相談 (#8000) より、緊急度が高く重症と判断され、当院へ紹介された方のみ診察をおこないます。

《 大分県子ども救急電話 相談事業 》

TEL 097-503-8822  
#8000 固定電話 (プッシュ回線対応)  
 (中津市を除く)  
 携帯電話対応

相談時間: 平日 午後7時~翌朝8時  
 日・祝日 午前9時~午後5時  
 午後7時~翌朝8時

## 2月

## 各専門外来の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 皮膚科 外科 神経発達外来(石原)	2 皮膚科 外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	3 皮膚科 外科 アレルギー外来 腎臓外来(桑門)	4 皮膚科 外科 アレルギー外来 神経外来(岡成)	5 皮膚科 外科 アレルギー外来	6 皮膚科 外科
7	8 皮膚科 外科 神経発達外来(石原)	9 皮膚科 外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	10 皮膚科 外科 アレルギー外来 こども心外来 腎臓外来(桑門)	11	12 皮膚科 外科 アレルギー外来	13 皮膚科 循環器外来
14	15 皮膚科 神経発達外来(石原) 外科	16 皮膚科 アレルギー外来 神経発達外来(石原) 外科	17 皮膚科 外科 アレルギー外来 腎臓外来(桑門)	18 皮膚科 外科 アレルギー外来 内分泌外来(井原) 神経外来(岡成)	19 皮膚科 外科 アレルギー外来	20 皮膚科 泌尿器外来 腎臓外来(田中) 内分泌外来(岩田)
21	22 皮膚科 外科 神経発達外来(石原)	23 皮膚科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	24 皮膚科 外科 アレルギー外来 こども心外来 腎臓外来(桑門)	25 皮膚科 外科 アレルギー外来	26 皮膚科 外科 アレルギー外来	27 皮膚科 泌尿器外来
28	29 皮膚科 外科 神経発達外来(石原)	※各専門外来は完全予約制になります。ご希望の方は受付またはお電話でお問い合わせください。 青…午前のみ 桃…午後のみ オレンジ…終日				

